

排水溝における排水異常の原因と対策措置 (排水溝別 2/3)

場 所	対象物質	原因	今までに実施した対策 (H17/3/9時点)	再発防止のための対策強化検討内容 (H17/3/9時点)	H18/7/28 現在の対策推進状況
東鉄鋼総合排水溝	化学的酸素要求量 (COD)	・現場パトロール頻度が少なく 原水濃度変化に対する凝集剤添加量調整不足で、一時的に処理効率が低下した ・工業用水の水質悪化により、純水装置からの逆洗排水が増加し、沈降槽の汚泥が増加し、キャリアオーバーした。	管理強化(汚泥引抜き適正化、凝集剤添加量適正化)	・汚泥引抜き管増設：(H17 .4月末) ・更に処理安定化を図るため、ろ過器設置：(H17 .9月末) ・沈殿池出口濁度計の設置：(H17 .9月末)	平成17年5月27日に事前協議書を県市殿に提出し、8月8日に事前協議が終了した。対策の内、汚泥引抜き管増設については、10月20日に終了。ろ過器および濁度計設置については平成18年1月末に工事完了。
	ルルマルヘキサン抽出物質含有量	・現場パトロール頻度が少なく 原水濃度変化に対する凝集剤添加量調整不足で、一時的に処理効率が低下した ・沈降槽設備トラブルにより、汚泥引抜き不良が発生、汚泥滞留量が一時的に増加して、沈降性が悪化したため、キャリアオーバーした。	管理強化(汚泥引抜き適正化、凝集剤添加量適正化)	同上	同上
	窒素含有量	・高分子凝集剤 (NaClO) 注入ポンプ不良により凝集顕濁物質の沈降性が悪化したため、キャリアオーバーした。 ・現場パトロール頻度が少なく 原水濃度変化に対する凝集剤添加量調整不足で、一時的に処理効率が低下した。 ・沈降槽設備トラブルにより、汚泥引抜き不良が発生、汚泥滞留量が一時的に増加して、沈降性が悪化したため、キャリアオーバーした。	・高分子凝集剤 (NaClO) 注入ポンプ整備 管理強化(汚泥引抜き適正化、凝集剤添加量適正化)	同上	同上
	浮遊物質	・現場パトロール頻度が少なく 原水濃度変化に対する凝集剤添加量調整不足で、一時的に処理効率が低下した。 ・pH計の異常により、凝集性が悪化し、一時的に沈降槽から、キャリアオーバーした。 ・工業用水の水質悪化により、純水装置からの逆洗排水が増加し、沈降槽の汚泥が増加し、キャリアオーバーした。	・pH計洗浄、整備 管理強化(汚泥引抜き適正化、凝集剤添加量適正化)	同上	同上
西総合排水処理排水溝	化学的酸素要求量 (COD)	工場で、油圧配管漏れが発生し、水溶性作動油が循環冷却水設備を経由して、排水処理設備に流入した。その結果、水溶性COD物質を十分除去できず、一時的に上昇した。	・油圧配管補修 ・排出工場側での監視強化 (配管漏れ早期発見、修理) ・処理施設側での水質監視強化 (異常時は、工場排水の一時的受入停止)	処理水質監視徹底	処理水質監視徹底継続
	ルルマルヘキサン抽出物質含有量	・工場で、油圧配管漏れが発生し、水溶性作動油が循環冷却水設備を経由して、排水処理設備に流入した。 ・沈殿池汚泥循環ポンプ揚水量低下により、一時的にキャリアオーバーした。	・油漏洩箇所補修 ・排出工場側での監視強化 (配管漏れ早期発見、修理) ・処理施設側での水質監視強化 (異常時は、工場排水の一時的受入停止)	同上	同上
	窒素含有量	西中和設備、西脱水センターからの排水 (処理水)を、まとめて排水していたため、一時的に濃度異常が発生した。	・排水送水量の平準化 (従来2時間で送水を8時間とした) ・排水開始時の連絡及び、排水溝での窒素濃度監視による水質監視強化	同上	同上
	浮遊物質	・中和剤 (石灰) 希釈槽設備のトラブルによる、一時的な処理不良 ・汚泥循環ポンプ揚水量低下により、沈降を促進させるために反応槽に入れている循環汚泥量が減少したため、沈降性が悪化して浮遊物質が増加したと思われる。	・石灰希釈槽レベル計補修、監視強化 ・汚泥循環監視強化	・石灰オーバーフロー防止のための堰の設置：(H17 .4月末)	平成17年5月2日に事前協議書を県市殿に提出し、8月2日に事前協議が終了した。石灰オーバーフロー防止のための堰設置工事は、平成17年9月29日に終了。(当初予定は事前協議終了後3ヶ月、平成17年11月を計画)

排水溝における排水異常の原因と対策措置 (排水溝別 3/3)

場 所	対象物質	原 因	今までに実施した対策 (H17/3/9時点)	再発防止のための対策強化検討内容 (H17/3/9時点)
-----	------	-----	------------------------	------------------------------